

The background is a vertical collage of three images. The top image shows a traditional Japanese building with a thatched roof and a tiled section, set against a backdrop of green trees. The middle image is a close-up of hands painting a dark brown ceramic plate with yellow calligraphic lines. The bottom image shows hands painting a colorful, abstract pattern on a white surface with a brush.

DENKEN WEEK KOJIRO 2023

1/28^{sat} - 2/5^{sun}

デンケンウィーク神代

長崎県雲仙市国見町神代にて
アート、工芸品の展示や食に
纏わるイベントを開催します。

デンケン＝重要伝統的建造物群保存地区

300年超の歴史とクリエイティブの出会い

はじめまして。DENKEN WEEK(デンケン ウィーク)です。ここ、長崎県雲仙市国見町神代でのデンケン ウィークは、300年以上の歴史のある空間と、アートや工芸、食に纏わるクリエイティブシーンが会うイベントです。地域の中にいると気付かないような、地域がもともと持っている

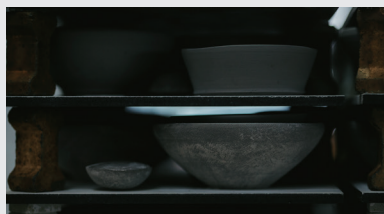
魅力的な建物、町並みなどを地域内外の方に改めて気づいてもらうための取り組みです。神代小路は、国選定の重要伝統的建造物群保存地区。略して「伝建(でんけん)地区」と呼ばれていて、デンケンウィークの名前の由来になっています。



Artist 中川 紀夫 (紀窯)
Instagram @kigama_nakaoyama

1980年生。生まれも育ちも長崎県東彼杵郡波佐見町です。中川さんは学生時代に一度町を離れ、その後栃木県の益子で焼き物の修行をし波佐見に戻ります。父の孔明窯の隣に紀窯(きがま)を設立後、精力的に作陶しています。

現在仕事の中心はイギリス発祥のスリップウェアと言われる陶器の仕事。イギリスのみならずヨーロッパで盛んに作られた日用食器で、どっしりとした形の上におおらかに描かれる線が特徴的です。スリップウェアの作り手が日本でも急増した中で、中川さんのスリップウェアは線の表現や全体の表情において高く評価されています。今回は中川さんが手がけるさまざまなスリップウェアの仕事の中から「レッドウェア」だけにフォーカスした展示となります。レッドウェアはイギリスで生まれたスリップウェアがアメリカで独自の発展をしたもので、文字通り赤が特徴的な焼き物です。オリジナルのものは低温で焼かれた優しく素朴な風合いが魅力なのですが現在の生活ではもろくて使いにくいものです。そこに工夫を重ねた中川さんのレッドウェアは、高温焼成で使いやすく、見た目の美しさも両立させたものです。



Artist 都築 明
Instagram @tsuzukiakira

1980年生、宮城県出身。東北芸術工科大学大学院卒業後、波佐見町へ移住し作家活動をスタート。現在は各地のクラフトフェアやギャラリーでの展示を中心に活動。

焼き物をする環境を求めて波佐見に辿り着いた都築さんは、人の紹介で、九州の民陶を模したのを作っていたような工房の跡地を借り受けます。そんな背景とは逆に、波佐見や九州の伝統といった枠に縛られない自由な創作が都築さんの魅力です。広い工房は、使う場所や使うものが見事に整理整頓され、作り手の性格と作品に通底する何か伝わってきます。

都築さんの仕事は食器に限らず、陶器を使って時計や照明やオブジェなどにも及びますが、DENKENでの展示は食器が中心となる予定。青、緑、黒、灰…焼き上がりや光によってどう表現したら良いか迷ってしまう深く穏やかな色合いと、整ったややシャープさを持つ造形的美しさが特徴です。作り手により考え抜かれ削ぎ落とされたようなつつわですが、とっつきにくい訳ではなく、最後は使う人が自由にどうぞとそんな感覚も感じます。見た目も作り手も中川さんとは好対照。それ故に、各地で二人で組んで展示することも多いのだそうです。

展示場所となるTOKITOKIがそうであるように、伝統を生かしつつ現代にアップデートされたもの、それがまさに今回の展示のテーマです。県内で活動する陶芸家の中から、伝統産地に暮らし、ものづくりをしながらも「今」を表現する二人の作家をセレクトし、そのうつわを展示販売致します。同い年で、お互いの工房も近く、また県内外で一緒に展示をすることもあるという中川紀夫・都築明、二人の躍動するうつわです。すでに広く活動している二人ですが、初めての方には新鮮に見てもらえたら嬉しいことですし、ご存知の方にはこの地このタイミングで改めて見て頂くのもきっと楽しいことでしょう。

うつわは食事があってのもの。実は今回はTOKITOKIでの展示だけでなく、下記の限定レストランでも二人のシェフに彼らのうつわを使って盛り付けをしてもらい、実際に食べて体感していただくこともできます。

みんげい おくむら 奥村 忍

1980年千葉県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、放浪。のち商社で輸入業務、メーカーで営業・小売店統括を経て独立。WEBショップ『みんげい おくむら』を2010年オープン。国内外から手仕事による生活道具(いわゆる民藝)を提案する。民藝(工芸)・旅・食に関する執筆も手がける。2017年より「にわのわ アート&クラフトフェア・チバ」(千葉県)選考委員。

KOJIRO MAP



神代小路の緋寒桜(2月中旬〜3月上旬)
※気候条件などにより、見頃が大幅にずれる場合があります。

<p>A TOKITOKI</p> <p>中川 紀夫(陶芸) 都築 明(陶芸)</p>	<p>B まちなみ交流館</p> <p>レイモン・サヴィニャック展 2/4まで</p>	<p>C 旧神代中学校</p> <p>サカタマサキ(写真家)</p>	<p>ダテユウイチ 似顔絵イベント</p> <p>1/29(日)、30(月) 13:00〜16:00(途中休憩有) 長崎出身イラストレーターダテユウイチによる似顔絵イベントが永松邸(D)にて開催されます。 お一人様/¥1,500</p>
<p>D 永松邸</p> <p>ダテユウイチ(イラスト)</p>	<p>E 佐藤邸 *</p> <p>山中 凱和(画家)</p>	<p>*佐藤邸開場時間は10〜15時まで。2/1(水)は閉館いたします</p> <p>Instagram @denkenweek_kojiro</p>	
<p>F 今村邸</p> <p>佐藤 利宗(画家)</p>	<p>今村邸</p> <p>鶴田 英昭(画家)</p>	<p>柴崎 澄保(画家)</p> <p>山口 伊緒里(オカリナ作家・奏者)</p>	<p>協力:アートネットコウジロコネクト</p> <p>y.hatsue(布小物)</p>

風土 (FOOD) LUNCH

木造の旧中学校舎を 限定レストランに

土地の風土に根差した食を探求し、表現する雲仙のシェフ2名が特別なランチをご用意。神代小路にある木造のレトロな旧中学校舎をレストランに活用して開催します。雲仙は、その土地で代々、育てられてきた在来種野菜の栽培で知られています。今回、腕を振るっていただくシェフ2名は雲仙市内で在来種野菜を使ったレストランを営まれています。レトロな旧校舎の空間を舞台に、どんなお料理が作られるのか。ぜひ来て、見て、食べて楽しんでください!



Chef 原川 慎一郎 (BEARD)
Instagram @beard_shin_harakawa

オーガニック農家を支援し、土地の風土と文化と繋がるコミュニティづくりに取り組む「Nomadic Kitchen」への参画や、米国の地産地消や食育などで知られる「シェ・パニーズ」で研修するなど活動は幅広い。2020年、雲仙の自家採取の野菜に魅せられ移住し「BEARD」を開店。



Chef 吉田 貴文 (villa del nido)
Instagram @villadelnido

雲仙市出身。福岡で修行を始め、26歳で渡伊。星付きレストランで腕を磨き、料理とその土地の関係性や必要性を感じる。帰国後、2015年に「villa del nido」を開店。世界的グルメガイドで1つ星を獲得。故郷の人・食材・気候に向き合って表現する料理が話題。

神代小路について



神代小路(こうじろくうじ)は、今から300年ほど前の江戸中期から、武士が暮らす武家地としてつくられた歴史地区です。石垣の上に積まれた石は、敵が来た時に投げる「つぶて石」の役割を持っていたと言われていました。まちの中には、今も、武士が住んでいた頃の面影が残っています。神代地区は、旧佐賀藩の飛び地の領地でした。領主の屋敷「鍋島邸」を中心に、周辺には領主の

家来である武士たちの住まいが建てられ、今も当時の武士のおうちが残っています。武家屋敷には、美しく手入れされた庭があり、庭には巨木がそびえ、このまちの長い歴史を物語っています。神代小路は、全国に126地域ある国の伝建地区のうちの1つ。この伝建地区は歴史的建物を護り伝えようと、地元住民や所有者の合意が形成された地域となっています。

DENKEN WEEK

KOJIRO 2023

1/28.sat_2/5.sun

am10:00-16:00

参加費 大人 ¥500

(高校生以下無料)

【関連イベント】

1/28(土)

CAFE JAYAオープン

先着30名様にお米屋さんがつくる温かい甘酒を無料サービスします。その他雑貨の販売もあります。

1/29(日)、30(月)

ダテユウイチ似顔絵イベント

長崎出身イラストレーターダテユウイチによる似顔絵イベントが永松邸(D)にて開催されます。

13:00~16:00(途中休憩有)

お一人様/¥1,500

(一名追加につき+¥800)

1/29(日)

こうじろフェス

神代商店街各店舗でのマルシェ、カフェ、雑貨出店、神代ふれあい館にて箏の演奏会(島原城子どもお箏教室 11:00~・13:00~)が開催されます。

2/5(日)

こうじろプチマルシェ

神代商店街にて末廣旅館及び旅館松栄でのプチマルシェ、神代ふれあい館での無線機器イベントなどが開催されます。

1/28(土)~2/5(日)10:00~15:00

レンタル着物

イベント期間中、神代ふれあい館にて着物の着付け(¥3,000)を致します。(九州伝統文化の会)

2/5(日)14:00~14:30

国見中学校吹奏楽部演奏会

国見中学校吹奏楽部の演奏がまちなみ交流館で行われます。



STAMP RALLY


1	2	3	4	<p>雑貨と喫茶 ku-ji (神代戊 2576-1)、ヒロツパマルヒロ 直営店(波佐見町)でもスタンプの捺印が可能です。</p>  <p>Instagram @denkenweek_kojiro でイベント情報をチェックして下さい。</p>
<p>スタンプは地図掲載のA~Gにて捺印が可能です。4つ集めたら TOKITOKI 受付にてプレゼント応募用紙と交換いたします。Instagram @denkenweek_kojiro でイベント情報をチェックして下さい。</p>				

Illustration / ダテユウイチ

Photographer / 大塚 淑子

Design / 清水 隆司(Judd.)

Direction /

みんげい おくむら (TOKITOKI)

雑貨と喫茶 ku-ji (永松邸)



202301-5000

【主催】株式会社patina 【共催】株式会社つぎと、株式会社ジャッド
【協力】小路自治会、神代小路まちなみ保存会、NPO法人神代小路ネットワーク、アートネット コウジロコネクト、神代鍋島塾、神代文殊会、境研伍(TOKITOKI)、長田 洋介(旭産トーヨー住器)、木田隆男(木田木工所)、塚野 梨梨奈(CAFE JAYA) 【協賛】雲仙市

連携イベント

鹿児島 DENKEN WEEK IZUMI 2023.2/5~2/12
福岡 UKIHA DENKEN ART MONTH
鏡田屋敷会場 2023.1/7~2/5(月休)
みなも会場 2023.1/7~2/26(火・水休)
宮崎 DENKEN WEEK OBI 2022.11/5~11/13